

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第143集

市内遺跡発掘調査報告書 2005

2007. 3

長野県佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第143集

市内遺跡発掘調査報告書 2005

2007. 3

長野県佐久市教育委員会

例 言

1. 本書は、平成17年度（2005年度）開発事業にかかわる試掘調査ならびに立会調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。
2. 市内遺跡発掘調査にかかる費用は、市内遺跡発掘調査事業として、全額を国庫補助金、および市費にて賄った。
3. 調査組織

平成17年度（2005）

事 務 局	佐久市教育委員会	文化財課		
教 育 長	三石 昌彦			
教 育 次 長	柳沢 健			
文化財課長	中山 悟			
文化財保護係長	高村 博文			
文化財調査係長	高柳 正人			
文化財保護係	荻原 留美			
文化財調査係	林 幸彦	須藤 隆司	小林 眞寿	羽毛田卓也
	富沢 一明	神津 格（10月～）		上原 学
	赤羽根太郎（4～9月）	出澤 力		

4. 本書にかかわるすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管される。
5. 本書の執筆は各担当が行い、加筆・編集は上原が行った。

凡 例

1. 位置図・全体図等の縮尺は各図ごとに明記した。
2. 遺跡の次にある景用数字は過年調査（試掘調査および立会調査）からの通し番号である。
3. 上原説明中の土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・（財）日本彩色研究所色票監修1987年度版「新版標準土色帖」の表示に基づいた。

目次

例言・凡例

目次

試掘調査

1	上砂田遺跡 2	1
2	栗毛坂遺跡群36	2
3	跡坂遺跡群12・芋の原遺跡群 3 ・東大久保遺跡群 9 (隣接)	3
4	枇杷坂遺跡群52	5
5	栗毛坂遺跡群37	6
6	平賀中屋敷遺跡群 8	7
7	久瀬添遺跡 9	8
8	一本柳遺跡群 (岩村田遺跡群88)	9
9	梨の木遺跡 3	11
10	岩村田遺跡群89 (隣接)	12
11	中原遺跡群31	13
12	城下遺跡他	14
13	松の木遺跡 6	17
14	国蔵山古墳 2	20
15	野馬窪遺跡群 4	21
16	社宮司遺跡 2	22
17	北畑遺跡群・北裏遺跡群 2	23
18	前田遺跡群 7	25
19	前口遺跡群 8	26
20	西一里塚遺跡群 5	27
21	野沢館跡12	28
22	七曲下遺跡 (隣接)	29
23	落合居屋敷遺跡 2	31
24	岩尾城跡	32
25	西一里塚遺跡群 6	33
26	周防如 B 遺跡	35
27	須釜原第 3・15号釜址	37
28	西久保 B 遺跡	39
29	五庵遺跡	41
30	宮浦遺跡群 2	42
31	芝宮遺跡群21	46
32	岩村田遺跡群90	47

33	濁り遺跡 4 (隣接)	48
34	濁り遺跡 5 (隣接)	50
35	町田遺跡群 2	51
36	寄塚遺跡群	52
37	枇杷坂遺跡群53 (隣接)	53
38	高師町遺跡群 6	54
39	周防如遺跡群24	55
40	塚原屋敷添遺跡	56
41	三千東遺跡群 3	58
42	東五里田遺跡群 6	60

立会調査

43	中原遺跡群32 (隣接)	62
44	常田居屋敷遺跡群14	63
45	大塚遺跡群 4 (隣接)	64
46	東大久保遺跡群10	65
47	野馬除欄跡	66
48	鮎沢遺跡 2	67
49	周防如遺跡群25	68
50	周防畑遺跡群26	69
51	竹原遺跡 4 (隣接)	70
52	志賀神明の木遺跡 2	71
53	周防如遺跡群27	72
54	周防如遺跡群28	73
55	周防如遺跡群29	74
56	未周知	75
57	宮の上遺跡群12	76
58	石附遺跡 (隣接)	77
59	未周知	78
60	番屋前遺跡群 17	79
61	龍岡城跡	80
	平成17年度市内遺跡発掘調査一覧表	81
	平成17年度市内遺跡発掘調査位置図	83

試掘調査

1 上砂田遺跡 2

所在地 佐久市岩村田字西長塚1720-3-5、1721

調査委託者 小林 明

開発事業名 集合住宅新築工事

調査期間 平成17年5月12日

調査面積 390㎡（開発面積2,400㎡）

調査担当者 林 幸彦

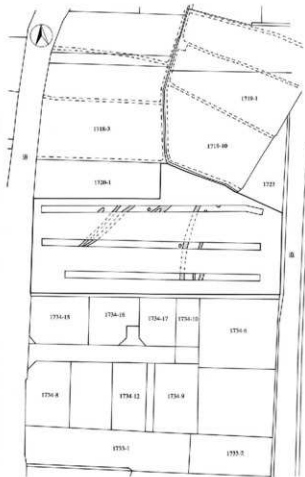


上砂田遺跡2位置図(1:10,000)

調査の結果

対象地に、幅2mのトレンチを3本設定し、遺構の確認を行った。表土下40~70cmで遺構確認面の浅間第一軽石流の水中堆積層に至った。調査の結果、時期不明の溝跡7条、土坑1基、ピット4個を検出した。遺物は、弥生時代中期の土器1片が出土した。

開発原因者との協議によって、工事は、表土上に40cmの盛り土を行い、実施することとなり、発見した遺構は、埋土保存する運びとなった。



上砂田遺跡2全体図(1:1,000)

試掘調査

2 栗毛坂遺跡群36

所在地 佐久市岩村田字西曾根54-1
調査委託者 株式会社 平元商店
開発事業名 工場建設
調査期間 平成17年4月26日
調査面積 333㎡（開発面積1,960㎡）
調査担当者 須藤 隆司



栗毛坂遺跡群36位置図（1：10,000）

調査の結果

開発原因者の重機により、調査対象地に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、時期を決定できる遺物は出土しなかったが、掘立柱建物址1棟が検出された。

原因者と保護協議を行い、発見した遺構は、破壊されることなく工事が実施されることから、埋土保存とした。



栗毛坂遺跡群36全体図（1：1,000）



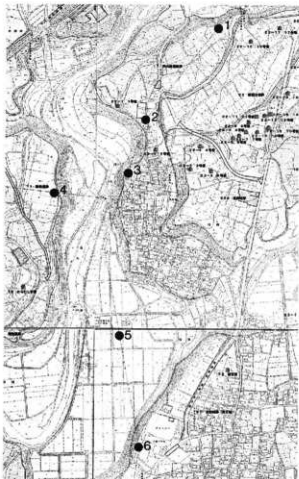
試掘調査

3 跡坂遺跡群12・芋の原遺跡群3・ 東大久保遺跡群9（隣接）

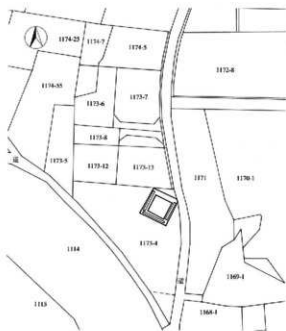
所在地 佐久市横根字跡坂844-1 外
調査委託者 東京電力株式会社
開発事業名 送電線鉄塔建て替え
調査期間 平成17年5月23・24日、8月3～5日
調査面積 20㎡（開発面積191.22㎡）
調査担当者 出澤 力

調査の結果

鉄塔建設予定地3ヶ所の試掘調査及び3ヶ所の立会調査を実施した。試掘調査では現況鉄塔周辺の対象地にトレンチを設定したが、遺構・遺物は確認できなかった。また、鉄塔建設に伴い行った立会調査においても遺構・遺物は確認できなかった。遺構確認は層厚30～40cmの耕作土直下のローム土上面で行った。



跡坂12・芋の原遺跡群3・東大久保遺跡群9(隣接)位置図(1:10,000)

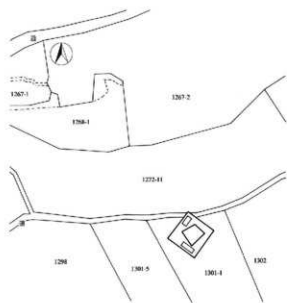


第1区全体図(1:1,000)





第2区全体图 (1 : 1,000)



第4区全体图 (1 : 1,000)



試掘調査

4 枇杷坂遺跡群52

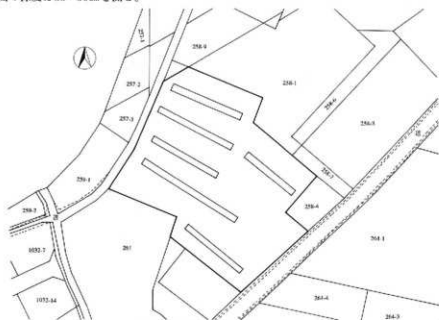
所在地 佐久市岩村田字下久保田向260-1
調査委託者 渡辺 保利
開発事業名 集合住宅新築工事
調査期間 平成17年5月25・26日
調査面積 302.61㎡ (開発面積2,358.09㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也



枇杷坂遺跡群52位置図 (1:10,000)

調査の結果

およそ東西方向のトレンチ6本を対象地に設定し、遺構の確認を行った。遺構・遺物は確認できなかった。遺構確認面の深度は36~90cmを測る。



枇杷坂遺跡群52全体図 (1:1,000)



試掘調査

5 栗毛坂遺跡群37

所在地 佐久市岩村田3734-1
調査委託者 阿部 貞義
開発事業名 集合住宅新築工事
調査期間 平成17年6月22日
調査面積 73.2㎡ (開発面積732㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也



栗毛坂遺跡群37位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ3本、南北方向のトレンチ1本を設定した。現況の表土は搬入土で21~24cmを測る。兩個三分の一は深度1m以上の攪乱を受けている。西側は表土直下が褐色ローム層で、東側は2層に分層される旧耕作土が確認できた。旧耕作土は35cm内外の厚みで、その下は褐色ローム層であった。

遺構確認は、褐色ローム層上面にて行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



栗毛坂遺跡群37全体図 (1:1,000)



試掘調査

6 平賀中屋敷遺跡群 8

所在地 佐久市平賀
調査委託者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年6月1日
調査面積 76㎡（開発面積500㎡）
調査担当者 出澤 力

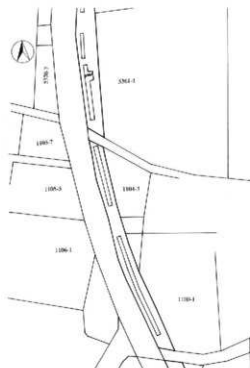


平賀中屋敷遺跡群 8 位置図（1：10,000）

調査の結果

道路改良に伴い調査可能地域の試掘調査を実施した。対象地内は地表から20～50cmの深さで遺構確認面である地山に到達した。遺構検出作業の結果、調査区北端で小規模な溝状の落ち込み1条を確認し写真撮影、図面作成を行った。遺物は出土しなかった。

未調査地域は、次年度調査となった。



平賀中屋敷遺跡群 8 全体図（1：1,000）



試掘調査

7 久瀬添遺跡 9

所在地 佐久市太田部252-1・5・11

調査委託者 岩月瓦工業株式会社

開発事業名 倉庫新築工事

調査期間 平成17年6月9日

調査面積 32㎡ (開発面積1,912㎡)

調査担当者 羽毛田 卓也

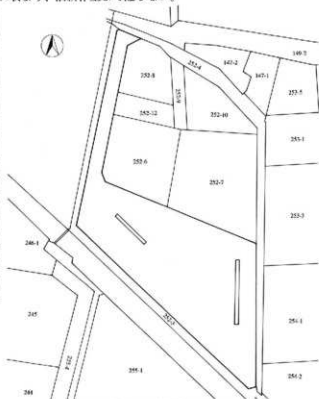


久瀬添遺跡9位置図 (1:10,000)

調査の結果

倉庫建設予定地中央に南北方向のトレンチ及び排水施設部分中央に東西方向のトレンチを設定した。トレンチ幅は1mで、不明箇所は部分的にトレンチ幅を拡張した。遺構確認面までの深度は49~90cmを測る。対象地内は全体に埋土が38~57cmの厚みで行われ、埋土の下層から旧耕作土が検出された。旧耕作土は2層に分層され、その下12~32cmの厚みを持つ砂層が確認された。砂層から弥生~平安時代の土器が確認されたため、砂層中で確認作業を実施したが、遺構は認められなかった。さらに砂層下の褐色粘質土層上面において確認を行ったが遺構は認められなかった。

なお、今回実施される工事の掘削は埋土中に収まり、旧耕作土まで達しない。



久瀬添遺跡9全体図 (1:1,000)



試掘調査

9 梨の木遺跡3

所在地 佐久市中込字曲坂3611-177

調査委託者 須藤 栄一

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成17年6月2日

調査面積 25㎡ (開発面積231.17㎡)

調査担当者 林 幸彦



梨の木遺跡3位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地内に東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。遺構確認面までの層厚は60cmを測り、上層30cmは盛土、下層30cmは耕作土に分層できた。遺構検出は黄褐色の砂層である湯川層上面で行った。遺構・遺物ともに確認できなかった。



梨の木遺跡3全体図 (1:1,000)



試掘調査

10 岩村田遺跡群89（隣接）

所在地 佐久市岩村田字宮ノ後1915-1

調査委託者 森泉 幸夫

開発事業名 集合住宅新築工事

調査期間 平成17年6月10日

調査面積 209.1㎡（開発面積1,242.5㎡）

調査担当者 羽田田 卓也

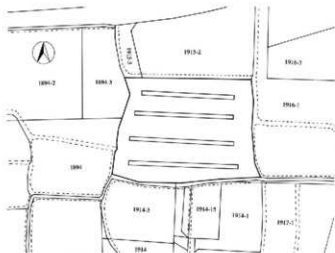


岩村田遺跡群89（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ4本を設定した。現況の水田耕作土は床土を含め26～31cmの厚さで、その下から旧水田耕作土を確認した。旧耕作土は2層に分層できたが、年代は不明である。その下から遺構確認面である褐灰色ロームを検出した。深度は地表より57～70cmを測る。

調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



岩村田遺跡群89（隣接）全体図（1：1,000）



試掘調査

11 中原遺跡群31

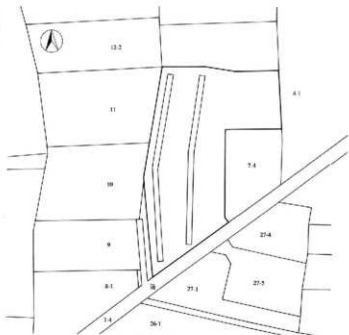
所在地 佐久市今井字北大塚7-5、7-2
調査委託者 有限会社 トーク
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成17年6月7日
調査面積 165㎡ (開発面積1,610㎡)
調査担当者 林 幸彦



中原遺跡群31位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に南北方向のトレンチ2本を設定し、表土下30cmの褐色土上面で遺構の確認を行った。遺構・遺物は確認できなかった。



中原遺跡群31全体図 (1:1,000)



試掘調査

12 城下遺跡他

所在地 (国) 141号 佐久市勝間548-1～
佐久市E田1374-2

調査委託者 白田建設事務所

開発事業名 道路改築

調査期間 平成17年7月19～22・25日、10月18日

調査面積 1,315㎡ (開発面積26,000㎡)

調査担当者 須藤 隆司

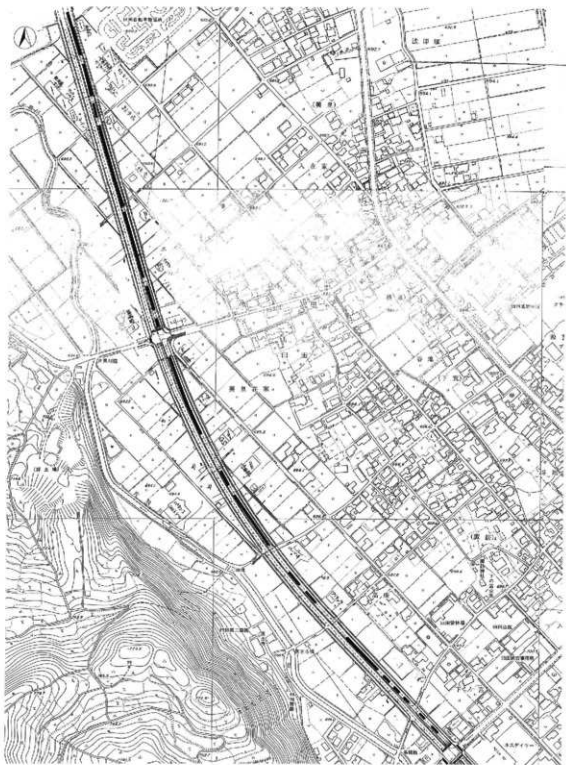
調査の結果

対象地にトレンチ30本を設定し、遺構・遺物の確認調査を実施した。その結果、城下遺跡とされた範囲を含め、河川城・低地・湿地であり、遺構・遺物は確認されなかった。



城下遺跡他位置図 (1 : 20,000)





城下遺跡他全体図(1) (1:5,000)



城下道跡他全体図 (2) (1 : 5,000)

試掘調査

13 松の木遺跡 6

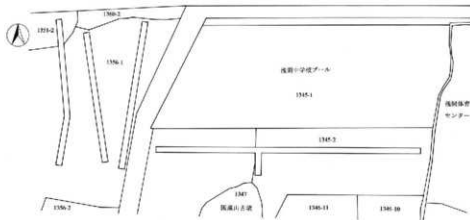
所在地 佐久市岩村田字下塚本1361外
調査委託者 佐久市（学校教育課）
開発事業名 学校整備
調査期間 平成17年7月20・21日
平成18年1月4～7日
調査面積 734㎡（開発面積36,000㎡）
調査担当者 小林 眞寿、富沢 一明、林 幸彦



松の木遺跡6位置図（1：10,000）

調査の結果

松の木遺跡は佐久市の北部にあり、標高は約696mを測る。浅間中学校西側の国道141号築造や店舗建築に伴い、弥生時代後期後半及び弥生時代末から古墳時代前期の集落が検出されている。また、浅間中学校の北側の円正坊遺跡群からは、弥生時代後期から古墳時代、奈良・平安時代・中世の集落が調査され、複雑に重複密集した遺構群が発見されている。



松の木遺跡6全体図（1）（1：1,000）



浅間中学校舎が老朽化したため現在のグラウンドに新校舎を新築し、現校舎の位置にグラウンドを造成することになり、試掘調査を行うこととなった。

南側プール周辺において南北方向のトレンチ3本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、学校敷地外一帯は低湿地であり、水田を含む遺構・遺物は発見されなかった。

グラウンドは運動クラブ等の使用により制約があり、試掘トレンチは北側と東側の端に設定せざるを得なかった。グラウンド造成上20～30cm下に砂層があり、砂層に覆われて水田遺構かと思われる薄い黒色土と黒褐色土が堆積している。Aトレンチの大半ではこの層は見られない。

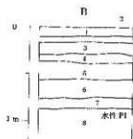
校舎南側のEトレンチでは、この砂が1m以上の厚さで堆積している。低地（砂層と強粘質土）が学校敷地内を北東から南東にかけて形成されているようだ。

旧給食センター跡のDトレンチでは、表土下170cmで黄色の浅間第一軽石粒（P1）がみられる。その上部の4・5層の状況は、すぐ西側で調査された松の木遺跡Ⅱに類似しており、周囲に遺構の存在が予想される。

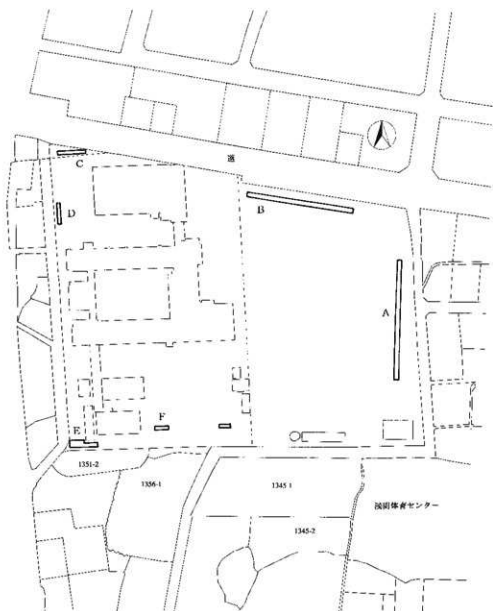
校舎はグラウンドに新築されることとなり、調査を実施することとなった。



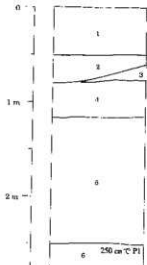
茂田中上層断面図



- 1層 グラウンド段。
- 2層 グラウンド盛土。
- 3層 褐色土 (砂土)
- 4層 赤土 粘性強い。植物の腐植物多い。
- 5層 黒褐色土 赤・白色の礫石を多く含む。
- 6層 赤褐色土 粘性強。砂少し。白色礫石多く含む。
- 7層 赤土 粘性強い。植物の腐食した物多く含む。
- 8層 赤土 水洩り層。

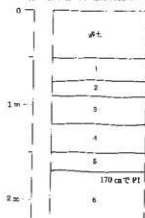


B 技術棟



- 1層 盛土 中学校建設時の土、多量の灰が入る。
- 2層 赤褐色土 排水層を敷く上、下部に水田しきりあり。芝生そのつけ用上。
- 3層 赤褐色土 しきりやあり、PIのような土で砂質化している。
- 4層 褐色土 水底のはなれのような土。
- 5層 赤褐色土 4層のはなれのような土と砂層が互層となる。
- 6層 赤褐色土 水洩り層で水が流く。

D 駐水場 (旧北部給食センター)



- 1層 赤褐色土 水田耕作土。
- 2層 赤褐色土 水田のしきり。
- 3層 赤褐色土 砂を主体とする層。
- 4層 褐色土 しきり層、粘性あり。礫石含む。
- 5層 赤褐色土 しきり。粘性あり。武蔵部分では遺物なし。
- 6層 赤褐色土 水洩り層 (PI)

松の木遺跡6全体図(2) (1:1,500)

試掘調査

14 国蔵山古墳 2

所在地 佐久市岩村田字下塚本1345-5外

調査委託者 佐久市（学校教育課）

開発事業名 道路建設

調査期間 平成17年7月21日

調査面積 59㎡（開発面積780㎡）

調査担当者 小林 眞寿

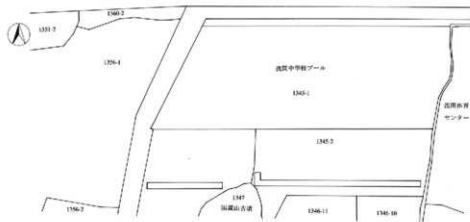


国蔵山古墳2位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ2本を設定した。現地表から40～110cmで浅間山の第一軽石流の堆積層に達するため、この上面を遺構検出面とした。その結果、調査対象地が低湿地であることが判明し、遺構・遺物は確認できなかった。

国蔵山古墳の裾部については、今回調査できなかったため、今後、墳丘測量を含めた調査が必要である。



国蔵山古墳2全体図（1：1,000）



試掘調査

15 野馬窪遺跡群 4

所在地 佐久市猿久保187-1

調査委託者 学校法人 吉沢学園

地球環境高等学校

開発事業名 グラウンド整備

調査期間 平成17年7月11・12日

調査面積 316㎡ (開発面積647㎡)

調査担当者 小林 慎寿

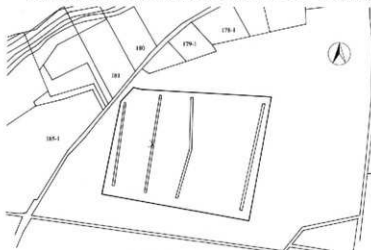


野馬窪遺跡群4位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に南北方向のトレンチ4本を設定した。現地表から10~160cmで浅間山の第一軽石流の堆積層に達するためこの上面を遺構検出面とし調査を行った。その結果、平安時代の竪穴住居址1軒を確認した。遺物は土師器・須恵器が3片出土した。

遺構が存在した地域は80cm以上の埋土が施されることから、埋土保存とした。



野馬窪遺跡群4全体図 (1:2,500)



試掘調査

16 社宮司遺跡 2

所在地 佐久市原275-2外、鍛師屋281-2外

調査委託者 佐久市（土木課）

開発事業名 道路改良

調査期間 平成17年8月5日

調査面積 50㎡（開発面積5,180㎡）

調査担当者 小林 真寿

調査の結果

調査可能な地域にトレンチを設定した。調査地は千曲川の氾濫により、礫層が厚く堆積しており、遺構・遺物は確認されなかった。

他の地域については現道の、のり部分を道路に改良するため、併走する農業用水の破壊が懸念されることや、重機を使用するための幅員がないため、慎重工事とした。



社宮司遺跡2位置図（1：10,000）



社宮司遺跡2全体図（1：1,000）



試掘調査

17 北畑遺跡群・北裏遺跡群 2

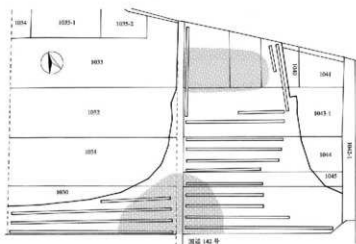
所在地 佐久市伴野地区 外
調査委託者 日本道路公団関東第一支社
開発事業名 道路新設
調査期間 平成17年8月17日～9月5日
調査面積 4,310㎡ (開発面積25,000㎡)
調査担当者 小林 真寿



北畑・北裏遺跡群 2 位置図 (1:10,000)

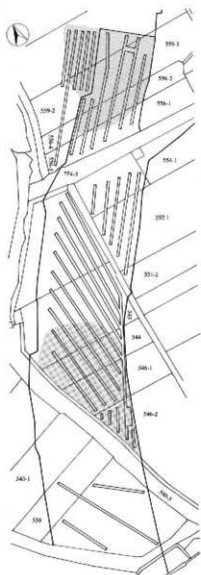
調査の結果

対象地に東西・南北方向のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、北畑遺跡群は溝跡・土坑・ピットなどが表土下80～120cmのシルト質土ないし砂層上に認められ、縄文後期・晩期の土器が伴っている。北裏遺跡群は低湿地の泥炭層中に縄文土器・土師器が含まれている。両遺跡群の3地点において本調査を実施すべく保護協議を行い、今年度から19年度まで本調査を継続することとなった。



北畑遺跡群・北裏遺跡群 2 全体図 (1) (1:2,000)





北畑道跡群・北裏道跡群2全体図(2)(1:2,000)



試掘調査

18 前田遺跡群7

所在地 佐久市塚原字長塚984-1
調査委託者 池田 秀
開発事業名 集合住宅新築工事
調査期間 平成17年9月14日
調査面積 194.22㎡ (開発面積1,087.99㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也



前田遺跡群7位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ4本を設定した。遺構確認までの深度は32～58cmを測る。遺構確認面は暗赤色～鈍い赤色・赤灰色～赤褐色・黄褐色を呈する砂質土で、赤色溶岩・黒色溶岩・輝石安山岩の礫(5～60cm)を多量に含む塚原泥流層であった。層及び巨石の状態から、対象地には泥流残丘が存在しており、それを削平したものと考えられる。調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



前田遺跡群7全体図 (1:1,000)



試掘調査

19 前田遺跡群 8

所在地 佐久市塚原字小太郎塚1074-1,1075-1

調査委託者 池田 秀

開発事業名 集合住宅新築工事

調査期間 平成17年9月13日

調査面積 105.75㎡ (開発面積1,002.91㎡)

調査担当者 羽田田 卓也



前田遺跡群 8 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

集合住宅建設に伴い試掘調査を実施した。対象地に南北方向のトレンチ4本を設定した。地形は西側半分に低地が広がっており、それに併せて北西から西へ向かって傾斜している。遺構確認面までの深度は40～60 cmを測る。低地確認部分では赤色溶岩・安山岩の礫を多量に含む黒色粘土層の下部より、砂質の変質黄褐色ロームが確認された。低地をはずれた箇所では、礫を少量含む暗褐色粘土層の下部より黄褐色ロームを確認した。いずれの箇所からも、遺構・遺物は確認されなかった。



前田遺跡群 8 全体図 (1 : 1,000)



試掘調査

20 西一里塚遺跡群 5

所在地 佐久市根々井字姫宮1120-1
調査委託者 ボーダフォン株式会社
開発事業名 無線基地局電気通信設備新設
調査期間 平成17年9月15日
調査面積 32㎡ (開発面積164.49㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也



西一里塚遺跡群 5 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に南北方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。遺構確認面までの深度は43～52cmを測る。確認面は鈍い黄褐色砂質ロームで、黄色バミスを微量含んでいた。確認面の上部に8cm前後の厚みを持つ黒色土が存在したが、遺物は見られなかった。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。



西一里塚遺跡群 5 全体図 (1:1,000)



試掘調査

21 野沢館跡12

所在地 佐久市野沢字居屋敷58-15
調査委託者 宮沢 義一
開発事業名 集合住宅新築工事
調査期間 平成17年10月14日
調査面積 23,32㎡（開発面積243,82㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



野沢館跡12位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。遺構確認面までの深度は56～65cmを測る。表土15cm以下は2面にわたる整地層で地山は褐色シルトである。遺構は中世と考えられる柱穴25個、土坑3基、堀1条を検出した。堀は現在の水路に沿って存在する伴野城跡の外郭堀で、西側の立ち上りを確認した。遺物は整地層内から近世から近代の磁器、確認面から内耳土器が出土した。

基礎工事が確認面に達しないことから埋土保存とした。



野沢館跡12全体図（1：500）



試掘調査

22 七曲り下遺跡（隣接）

所在地 佐久市白田字美里在家1550外
調査委託者 株式会社 ダイナム
開発事業名 パチンコ店新築工事
調査期間 平成17年12月15～19日
調査面積 1,000.54㎡（開発面積17,787.75㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



七曲り下遺跡（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地にトレンチ22本を設定し掘削した。遺構確認面までの深度は31～72cmを測る。確認面は、現在の木田耕作上直下及び近世から近代に成立したと考えられる灰黒色シルト下部で、旧片貝川上層及び河川堆積層であった。中央部に蛇行する旧片貝川が検出され、東側に自然堤防と遺物包含層、弥生中期から縄文後期の住居・土坑を、西側で中世以降の竪穴・土坑・ピットを確認した。遺物は土器・石器などが出土した。

遺構の検出された部分については駐車場であることから埋土保存とした。



試掘調査

23 落合居屋敷遺跡 2

所在地 佐久市鳴瀬字屋敷浦3609・3610-1・2
鳴瀬字待居3485-4

調査委託者 木曾 明

開発事業名 集合住宅新築工事

調査期間 平成17年10月24日

調査面積 191.85㎡ (開発面積1,912㎡)

調査担当者 羽毛田 卓也

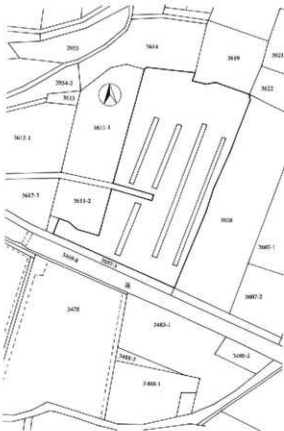


落合居屋敷遺跡 2 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に南北方向のトレンチ5本を設定し掘削した。遺構確認面までの深度は31~38cmを測る。表土直下が地山となっており、地山の暗褐色から褐色砂質土上面にて遺構確認を行った。桑園として利用されていたが、菊のハウスを設置する際に斜面を削平したとされており、表土直下が地山ということで確認できた。

遺構は確認できなかったが、遺物は攪乱層より縄文土器片数点を検出した。



落合居屋敷遺跡 2 全体図 (1:1,000)



試掘調査

24 岩尾城跡

所在地 佐久市鳴瀬字北びわじま680
調査委託者 笠原 慎一
開発事業名 介護宿舍建設
調査期間 平成17年10月21日
調査面積 35.14㎡（開発面積2,462㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



岩尾城跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内の基礎工事範囲にトレンチ2本を設定し、掘削した。遺構確認面までの深度は60～75cmを測る。現状で水田耕作土の上部に32～35cmの厚さで埋土されており、水田耕作土下面と暗褐色砂礫層下面において遺構確認を行った。確認面の地山は褐色砂礫層と灰褐色粘土層・灰褐色砂層であった。

遺構・遺物はともに検出されなかった。



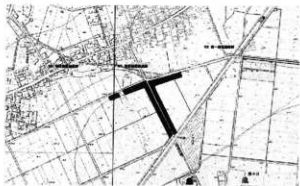
岩尾城跡全体図（1：1,000）



試掘調査

25 西一里塚遺跡群 6

所在地 佐久市根々井
調査委託者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改築
調査期間 平成17年11月2～11日
調査面積 725㎡（開発面積5,800㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



西一里塚遺跡群6位置図(1:10,000)

調査の結果

対象地に15本のトレンチを設定し、掘削した。遺構確認面までの深度は42～268cmを測る。遺構確認面は、灰オリーブ色・暗オリーブ色・褐灰色を呈する粘土質シルト上面と、暗赤色～鈍い赤色・赤灰色～赤褐色・黄褐色を呈する塚原泥流層上面である。基盤整備により地山が削平された部分もあるが、半数のトレンチで基盤整備前の旧水田面が残存していた。遺構は検出されなかった。遺物は、旧水田面直下の二次堆積黒色土層から弥生時代後期の土器片が数点出土した。



試掘調査

26 周防畑 B 遺跡

所在地 佐久市長土呂1614-1外
調査委託者 佐久市（高速交通課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年11月24・25日
調査面積 250㎡（開発面積4,850㎡）
調査担当者 富沢 一明

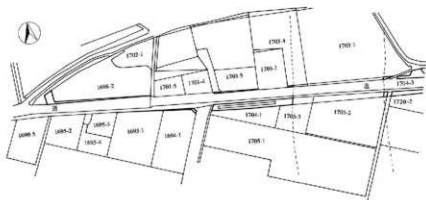


周防畑 B 遺跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地にトレンチを設定し、調査を実施した。確認面は調査地点により異なり、P1層・黒色土・砂層等があった。遺構は、圃場水田下に弥生後期～奈良・平安時代の竪穴住居跡・土坑・溝状遺構が検出された。

保護協議の結果、大豆田遺跡として本調査を行う運びとなった。



周防畑 B 遺跡全体図（1：2,000）



試掘調査

27 須釜原第3・15号釜址

所在地 佐久市蓬田1251-104外
調査委託者 佐久市（土木課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年11月24・25日
調査面積 179㎡（開発面積2,700㎡）
調査担当者 富沢 一明

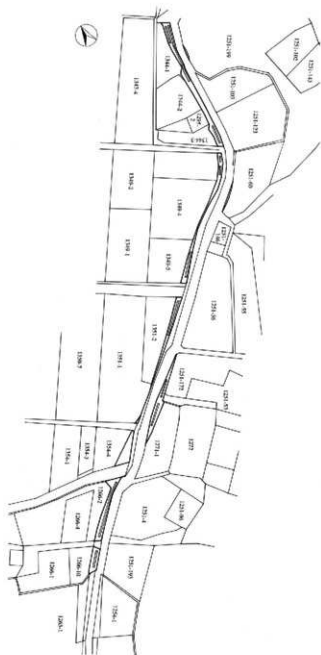


須釜原第3・15号釜址位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地にトレンチを設定し、調査を実施した。その結果、溝状遺構が検出され、土師器坏片が出土した。確認面は表土除去後の白色粘土層上面である。保護協議の結果、須釜遺跡として本調査を行う運びとなった。





須釜原第3・15号釜址全体図（1：2,000）



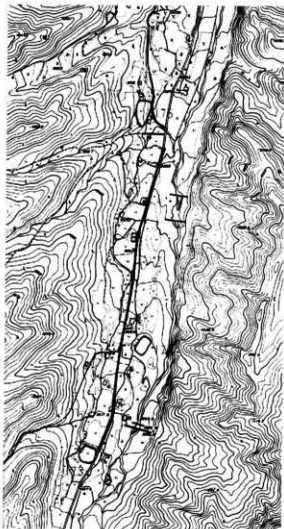
試掘調査

28 西久保 B 遺跡

所在地 佐久市春日
調査委託者 佐久市（土木課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年11月29・30日
調査面積 145㎡（開発面積5,000㎡）
調査担当者 富沢 一明

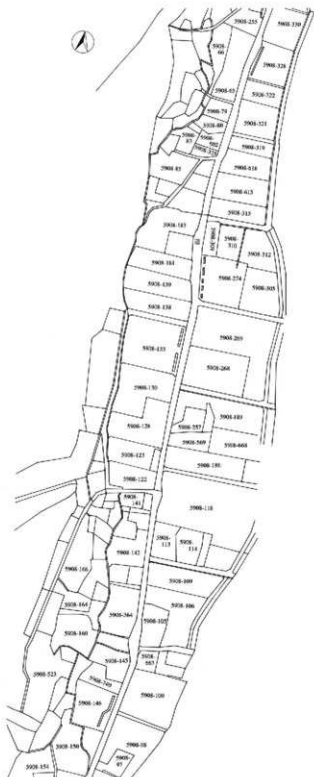
調査の結果

対象地にトレンチを設定し、調査を実施した。その結果、予定地北側では黒曜石と土師器片が出土したが、その他の部分で遺物は検出されず、遺構も確認できなかった。



西久保 B 遺跡位置図（1：10,000）





西久保 B 遺跡全体図 (1 : 4,000)



試掘調査

29 五庵遺跡

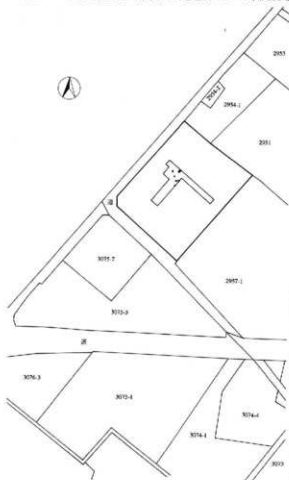
所在地 佐久市田口字五庵2955
調査委託者 佐久市（児童課）
開発事業名 児童館建設
調査期間 平成17年12月14日
調査面積 61.83㎡（開発面積876.10㎡）
調査担当者 出澤 力



五庵遺跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地に2本のトレンチを設定し、調査を行った。地表下45～50cmの耕作土下にある沖積土層が遺構確認面であり、掘立柱建物址と思われるピット7個を確認した。ピット内からは平安時代と思われる須恵器片が出土した。保護協議の結果、五庵遺跡として本調査を行う運びとなった。



五庵遺跡全体図（1：1,000）



試掘調査

30 宮浦遺跡群 2

所在地 佐久市桜井字前田290-1～
佐久市伴野山の鼻980-1間の61筆

調査委託者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改築

調査期間 平成17年12月5～10日
平成18年3月17～23日

調査面積 3,240㎡（開発面積25,011㎡）

調査担当者 出澤 力



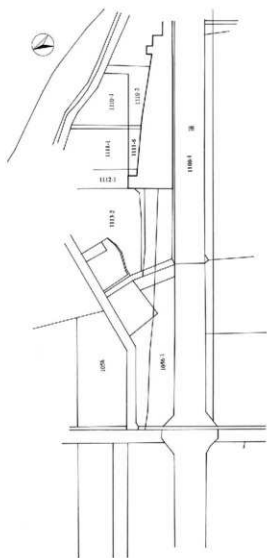
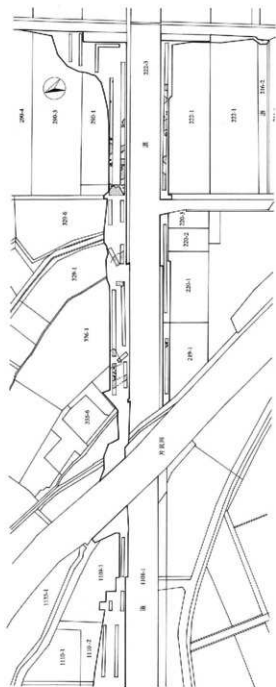
宮浦遺跡群 2 位置図（1：10,000）

調査の結果

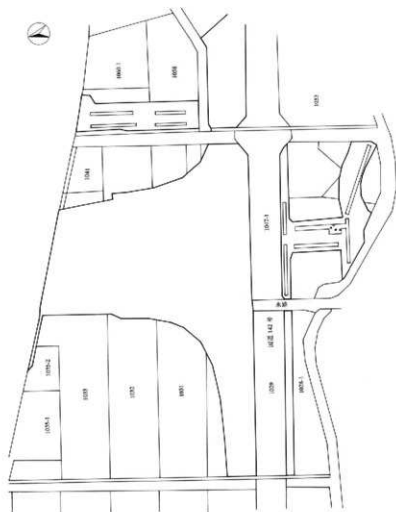
対象地内にトレンチを設定し調査を行った。調査区内は片貝川の氾濫及び圃場整備による影響を受けている。遺構・遺物を確認したのは地表下40～70cmのシルト質土の地山層と黒色土層である。住居址を確認したのは片貝川東岸の良好な地山層を残す部分で、住居址21軒と溝状遺構、土坑等が確認され、一部で土器が集中する包含層が存在した。

調査結果をもとに、保護協議を実施し、宮浦遺跡として本調査を行う運びとなった。



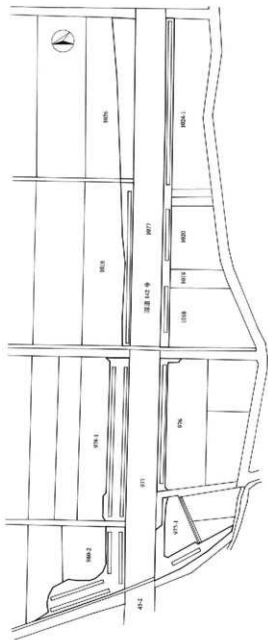


宮浦遺跡群2全体図(1)(1:2,000)



宮浦遺跡群2全体図(2) (1:2,000)





宮浦遺跡群2全体図(3)(1:2,000)



試掘調査

31 芝宮遺跡群21

所在地 佐久市長土呂字北下ノ中原803-22,803-23,
803-24,803-25

調査委託者 吉沢 正宣

開発事業名 集合住宅新築工事

調査期間 平成18年1月19・20日

調査面積 282㎡ (開発面積4,952.81㎡)

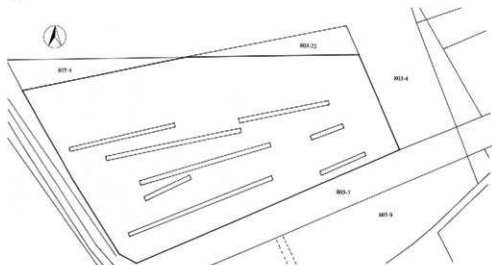
調査担当者 出澤 力



芝宮遺跡群21位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ8本を設定し、調査を行った。調査区は北東側から南西側に向かって傾斜しており、現状では北東側は削平を受けている。南西側は盛り土がなされ、所々に攪乱を受けている。遺構・遺物は確認できなかった。



芝宮遺跡群21全体図 (1:1,000)



試掘調査

32 岩村田遺跡群90

所在地 佐久市岩村田字下樋田1801-1
調査委託者 佐藤 智哉
開発事業名 診療所併用住宅
調査期間 平成18年1月12日
調査面積 96.0㎡（開発面積791.12㎡）
調査担当者 出澤 力

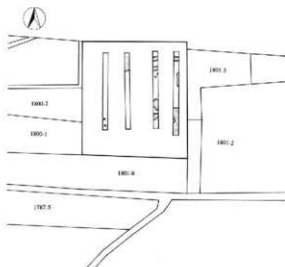


岩村田遺跡群90位置図（1：10,000）

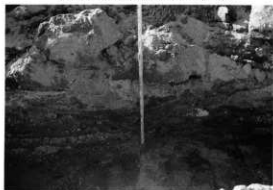
調査の結果

対象地に南北方向のトレンチ4本を設定し、調査を行った。地表下70～140cmが遺構確認面であり、住居址6軒、溝状遺構2条、土坑1基、ピット4個を確認した。遺物は弥生土器片が出上した。

保護協議の結果、確認面から基礎底面までの間に30cmの保護層が確保できることから、遺構は埋土保存する運びとなった。



岩村田遺跡群90全体図（1：1,000）



試掘調査

33 濁り遺跡 4 (隣接)

所在地 佐久市平塚40-1外22筆
調査委託者 佐久市 (高速交通課)
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年12月26～28日
調査面積 158.28㎡ (開発面積872㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也

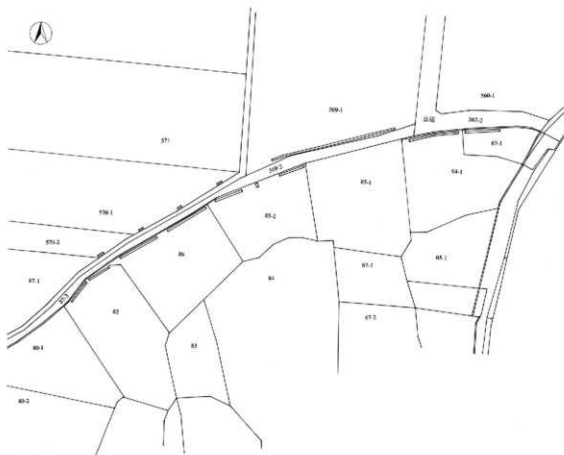


濁り遺跡 4 (隣接) 位置図 (1 : 10,000)

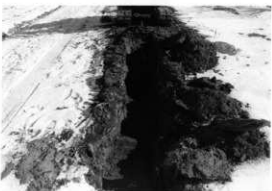
調査の結果

対象地に14本のトレンチを設定し、調査を行った。遺構確認面までの深度は18～34cmを測る。遺構確認面は、褐色～褐灰色砂層と赤褐色・黄褐色・黒褐色塚原泥流層である。起伏に富む塚原泥流層の上に濁り川が起因と考えられる砂層・シルト層が覆って平地を造り出していた。

遺構確認面と断定した上記2層において精査を行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



濁り遺跡 4 (隣接) 全体図 (1 : 1,000)



試掘調査

34 濁り遺跡 5 (隣接)

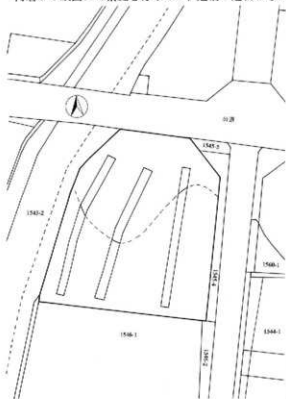
所在地 佐久市岩村田字押出し1545-1
調査委託者 株式会社 地建
開発事業名 集合住宅新築
調査期間 平成18年2月6・7日
調査面積 326.75㎡ (開発面積2,397㎡)
調査担当者 羽毛田 卓也



濁り遺跡 5 (隣接) 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地の西側に濁り川が南北方向に流れ、地形は緩やかに南傾斜する。調査は、南北方向のトレンチ3本を設定し、掘削した。遺構確認面までの深度は40～146cmを測る。遺構確認面は、北側が塚原泥流層(黄褐色粗砂・灰色砂・明赤褐色粗砂)で、南側が黒色シルトである。北側は塚原泥流残丘で北から南に向かって傾斜している。南側は泥流残丘斜面に堆積した黒色シルトで、0～46cm下部に浅間P1軽石流が存在する。確認面までの土層は、北側が塚原泥流まで人為的埋土(54～66cm)、一部その下部に旧水田耕作土となる。南側は2層に及ぶ人為的埋土(58～89cm)・旧水田耕作土(43～56cm)・黒灰色シルト層(4～8cm)である。何層かの上面にて精査を行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



濁り遺跡 5 (隣接) 全体図 (1:1,000)



試掘調査

35 町田遺跡群 2

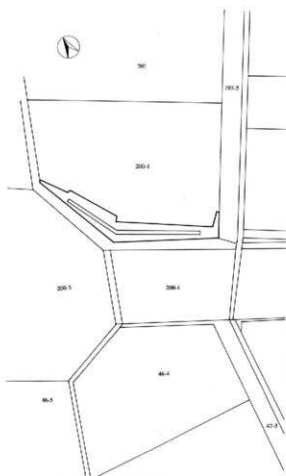
所在地 佐久市跡部字反田200-1
調査委託者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改築
調査期間 平成18年1月17日
調査面積 42㎡（開発面積273.35㎡）
調査担当者 富沢 一明



町田遺跡群 2 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地にトレンチを設定し、調査を行った。その結果、圃場水田下は25cmで人頭大の礫を含む砂礫層となる。遺構・遺物は検出されなかった。



町田遺跡群 2 全体図 (1:1,000)



試掘調査

36 寄塚遺跡群

所在地 佐久市横和389-1外
調査委託者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改築
調査期間 平成17年10月11・12日
調査面積 200㎡（開発面積2,347㎡）
調査担当者 林 幸彦



寄塚遺跡群位置図 (1:10,000)

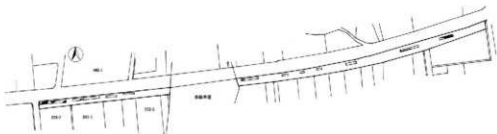
調査の結果

寄塚遺跡は佐久市の北部にあり、標高は約671mを測る。寄塚遺跡群内では、宅地造成に伴い、弥生時代中期後半および弥生時代後期の大規模な集落が試掘調査で検出されている。また、南側に隣接する今井西原遺跡からは、古墳時代前期、平安時代、中世の集落が検出されている。

今回、佐久建設事務所が長野県単道路改築事業を行うこととなった。場所は県道原嶺久保線が中部自動車道と交差する部分である。付近は圃場整備が済んでいるが、隣接の調査例から試掘調査を行うこととなった。

稲刈りが終了していない水田があるため試掘調査可能な範囲にトレンチを入れた。その結果、表土下30～50cmで遺構確認面に達した。調査区西側には少なくとも4棟以上の弥生時代中期後半の竪穴住居址が検出された。また、東側では2本以上の溝状遺構が検出された。

保護協議の結果、記録保存調査を実施することとなった。



寄塚遺跡群全体図 (1:1,500)

試掘調査

37 枇杷坂遺跡群53（隣接）

所在地 佐久市佐久平駅南6-4、同所6-5
調査委託者 株式会社 マテュリティ
開発事業名 店舗兼集合住宅
調査期間 平成18年3月6日
調査面積 85㎡（開発面積1,180㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



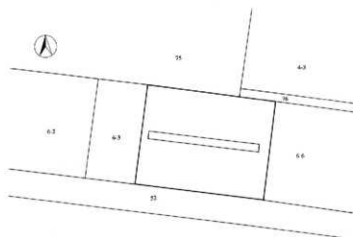
枇杷坂遺跡群53（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地は佐久平駅周辺区画整理事業により理上が行われた箇所で、地形は緩やかに南傾斜する。調査は東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。

遺構確認面までの深度は193cmを測り、一部土層確認のために236cmまで掘削した。遺構確認面は、塚原泥流層（黄褐色粗砂・灰色シルト・明赤褐色粗砂）の二次堆積層で、遺構・遺物ともに検出されなかった。

遺構確認面までの土層は、107～120cm厚の区画整理による埋土、18～21cm厚の旧耕作土、46～50cm厚の圃場整備による基盤埋土からなる。



枇杷坂遺跡群53（隣接）全体図（1：1,000）



試掘調査

38 高師町遺跡群 6

所在地 佐久市新子田字稲荷反1413-8
新子田字高師町1370-1

調査委託者 佐久浅間農業協同組合

開発事業名 選荷所新設

調査期間 平成18年2月13・14日

調査面積 120㎡（開発面積998㎡）

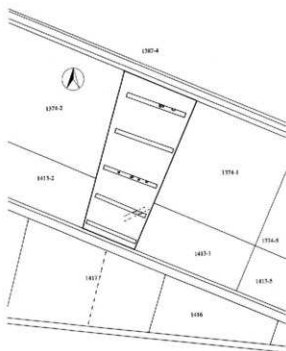
調査担当者 上原 学



高師町遺跡群6位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地に東西方向のトレンチ5本を設定し、調査を行った。その結果、溝跡・ピットを確認したが、長いも栽培による攪乱によって、遺構の大半が破壊され、僅かに痕跡を残す程度であった。遺物が出土しなかったため、遺構の時期決定には至らなかったが、対象地の北側に隣接した地域にて高師町遺跡Ⅱの調査が行われ、平安時代から中世の遺構が多数発見されているため、これに関係する遺構と思われる。遺構については保護層が確保できることから埋土保存とした。



高師町遺跡群6全体図（1：1,000）



試掘調査

39 周防畑遺跡群24

所在地 佐久市佐久平駅北17-4、17-5

調査委託者 社会福祉法人 敬老園

開発事業名 集合住宅

調査期間 平成18年2月15・16日

調査面積 363㎡（開発面積1,665㎡）

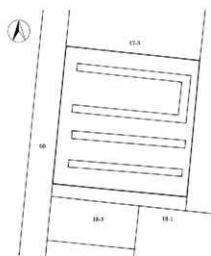
調査担当者 羽毛田 卓也



周防畑遺跡群24位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地の東側に濁り川が北から南方向に流れ、地形は緩やかに南傾斜を呈する。調査は東西方向のトレンチ4本、南北方向のトレンチ1本を設定し掘削した。遺構確認面までの深度は90～131cmを測る。遺構確認面は、西側一部が浅間P1軽石流の二次堆積で、他は濁り川を成因とする河川堆積層（褐灰色砂、黄灰色シルト・暗オリーブシルト・褐色シルト・粗砂）であった。確認面までの土層は、当地で行われた区画整理事業による一括の人為的埋土である。東と南側に隣接する道路部分の調査では弥生時代の包含層・平安から中世の集落が検出されているが、今回は遺構の検出は見られなかった。道路建設時の調査の際に遺構を検出した土層が存在せず、区画造成により削平されてしまったと考えられる。遺物は弥生土器と平安時代の土師器が数点、区画埋土内より出土した。



周防畑遺跡群24全体図（1：1,000）



試掘調査

40 塚原屋敷添遺跡

所在地 佐久市根々井1395 外
調査委託者 佐久市（高速交通課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年3月9～16日
調査面積 333㎡（開発面積4,200㎡）
調査担当者 富沢 一明

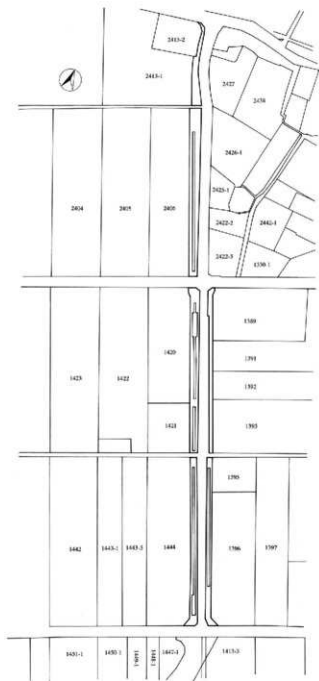


塚原屋敷添遺跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地である道路拡幅部分にトレンチを設定し、調査を行った。その結果、圃場水田下は30～50cmで泥炭層か拳大の礫が混じる黄色の基盤層になった。遺構確認は、この黄色土上面で行ったが、遺構は確認できなかった。遺物は泥炭層部分で土師器片2点が出土した。





塚原屋敷添遺跡全体図 (1 : 2,000)



試掘調査

41 三千束遺跡群 3

所在地 佐久市三塚字五里畑125-1～
桜井字南屋敷106-5間の18筆

調査委託者 佐久建設事務所

開発事業名 道路改築

調査期間 平成18年3月13～16日

調査面積 1,368㎡（開発面積8,354.7㎡）

調査担当者 出澤 力



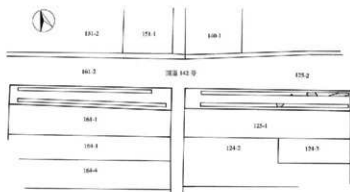
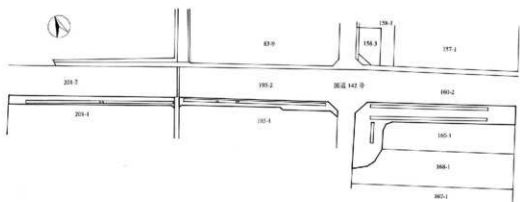
三千束遺跡群3位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地の地表下は河川の氾濫及び圃場整備による影響を受けている。調査対象地の表土厚は60～40cmを測り、遺構確認は地山であるシルト質上面で行った。結果、調査区東端から住居址2軒と溝跡を、西端で溝跡及び住居址コーナー部と思われる落ち込みを確認した。住居址の時期は不明である。遺物は縄文土器片、近世陶器が5片出土した。

今回は調査可能な道路南側の改良部分のみ調査を行い、残りの北側拡幅部は次年度調査とした。発見した遺構は市道遺跡Ⅲとして本調査を行う予定。





三千束道跡群3全体図 (1 : 2,000)



試掘調査

42 東五里田遺跡群 6

所在地 佐久市野沢441-2外
調査委託者 佐久市（学校教育課）
開発事業名 グラウンド造成
調査期間 平成18年3月17～23日
調査面積 790㎡（開発面積15,000㎡）
調査担当者 上原 学

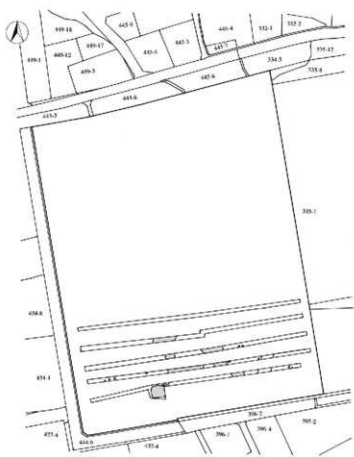


東五里田遺跡群 6 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地の内、グラウンド造成工事によって遺構の破壊が予測される南側5,000㎡に東西方向のトレンチ5本を設定し、調査を行った。その結果、北寄りのトレンチは旧校舎の存在した地域にあたり、地山への影響が著しく遺構は認められなかったが、南側4本のトレンチからは住居址、ピット、黒色の遺物包含層を確認した。遺物は遺構覆土内に土師器・須恵器片が含まれていたが、掘り上げなかった。遺構確認面は、地表から30～50cmを掘り、黄褐色シルト層・明褐色砂礫層上面など地域によって変化する。保護協議の結果、東五里田遺跡Ⅱとして本調査を行う運びとなった。





東五里田道跡群6全体図 (1 : 1,500)



立会調査

43 中原遺跡群32（隣接）

所在地 佐久市三河田字大塚447-2外3筆

調査委託者 佐久土地開発有限会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成17年5月27日

開発面積 2,972㎡

調査担当者 林 幸彦



中原遺跡群32（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

造成工事に伴う掘削工事に先立ち、対象地に業者重機によるトレンチ状の溝3本を掘り下げ、調査を実施した。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。

終了後、工事着工となった。



中原遺跡群32（隣接）全体図（1：500）

立会調査

44 常田居屋敷遺跡群14

所在地 佐久市長土呂字上大豆塚1933-17、2316-2

調査委託者 細川 順一

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成17年6月16日

開発面積 198.40㎡（調査面積37.44㎡）

調査担当者 羽毛田 卓也



常田居屋敷遺跡群14位置図（1：10,000）

調査の結果

個人住宅建設に伴う調査を実施した。基礎工事の掘削部分において土層と遺構の確認を行った。遺構確認面までの深度は50～40cmを測る。耕作土の除去後、28～40cmの厚みで埋土が行われており、その際に、遺構確認面である砂層の一部が削平されている。砂層の下には塚原泥流が確認された。砂層中で遺構と遺物の確認を行ったが、いずれも検出されなかった。



常田居屋敷遺跡群14全体図（1：1,000）



立会調査

45 大塚遺跡群4（隣接）

所在地 佐久市中込大塚手前3400-1、3483-1

調査委託者 株式会社 ツガミ

開発事業名 機械工場建設

調査期間 平成17年7月7～20日

開発面積 21,805.61㎡

調査担当者 羽毛田 卓也



大塚遺跡群4（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

既存の工場3棟が存在していた場所で、現状は北から南に向かって傾斜する。

基礎工事の掘削部分において土層と遺構の確認を行った。遺構確認面までは50～70cmで達するが既存工場棟の建設及び解体時にかなりの攪乱を受けており、地山であるロームに到達しない部分が多い。

遺構確認面の地山は、浅間P1ローム二次堆積砂質土で、10YR4/6～5/6色を呈する。掘削面において確認を行ったが、遺構・遺物ともに検出されなかった。また、南側1/3は地山に達しないため、遺構・遺物については不明である。表土及び攪乱層からは、現代と考えられる瓦片・陶磁器類・不明金属製品が検出された。



立会調査

46 東大久保遺跡群10

所在地 佐久市下平尾727
調査委託者 依田 信芳
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成17年10月27・28日
開発面積 399.04㎡（調査面積25.75㎡）
調査担当者 羽毛田 卓也



東大久保遺跡群10位置図（1：10,000）

調査の結果

個人住宅建設に伴う調査を実施した。基礎工事の掘削部分において上層と遺構の確認を行った。東側は擾乱が著しく、掘削深度が遺構確認面に到達しないため、遺構は確認できなかった。西側は地表より30～32cmで褐色ローム層に到達したが、遺構・遺物ともに確認できなかった。



東大久保遺跡群10全体図（1：1,000）



立会調査

47 野馬除柵跡

所在地 佐久市桑山字御牧原農園1223-41

調査委託者 栗本 光雄

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成17年11月18日

開発面積 464.66㎡

調査担当者 羽毛田 卓也



野馬除柵跡位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

個人住宅建設に伴い、調査を実施した。対象地は南方100mに旧浅科村指定の勅旨望月牧野馬除柵が存在する尾根続きの場所にあたる。掘削の土層を確認したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。



野馬除柵跡全体図 (1 : 1,000)



立会調査

48 薊沢遺跡 2

所在地 佐久市野沢字西五里田397-1

調査委託者 細萱 清一

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成17年12月1日

開発面積 364㎡

調査担当者 上原 学



薊沢遺跡 2 位置図 (1:10,000)

調査の結果

個人住宅建設に伴う、調査を実施した。基礎部底面までの状況確認を行った。深さは30～40cmを測る。周辺は埋土整地されており、旧地表面まで達していなかった。

遺構・遺物は確認できなかった。



薊沢遺跡 2 全体図 (1:1,000)



立会調査

49 周防畑遺跡群25

所在地 佐久市長土呂1712-3 外1筆

調査委託者 佐久市（高速交通課）

開発事業名 道路改良

調査期間 平成17年12月22・23日

開発面積 1,012㎡

調査担当者 出澤 力



周防畑遺跡群25位置図（1：10,000）

調査の結果

道路舗装貼り替え工事に伴う調査を実施した。工事掘削は表面耕作土中にとまり、遺構確認面である地山には達していなかった。遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

50 周防畑遺跡群26

所在地 佐久市長土呂字菱林908-1
調査委託者 エフビー介護サービス株式会社
開発事業名 老人ホーム建設
調査期間 平成18年1月25日
開発面積 2,568.82㎡
調査担当者 須藤 隆司



周防畑遺跡群26位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地は周防畑遺跡群内であるが周辺部の広域試掘調査で遺構・遺物が確認されていないため、遺構・遺物が確認された場合は、その場で再協議という確約の基に、調査を実施した。

表土下は浅間第一軽石流の堆積ないし二次堆積層で、遺構が存在した場合の確認は容易な状況であったが、調査の結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。



周防畑遺跡群26全体図 (1 : 1,000)

立会調査

51 竹原遺跡 4 (隣接)

所在地 佐久市平賀字砂田247-4、247-5
字坂下289、295

調査委託者 佐久市 (農林課)

開発事業名 道路改良

調査期間 平成17年12月6～8日

開発面積 1,553㎡

調査担当者 羽毛田 卓也



竹原遺跡 4 (隣接) 位置図 (1:10,000)

調査の結果

基盤整備事業時に多量に遺物が出土したとされている地域で、それ以降開発等による調査がなく、遺跡の有無について未確認であるため調査を実施した。

現道部掘き取りの際に土層と開発到達面までの遺構確認を行った。開発到達面までの土層は、東側で暗褐色粘土・旧耕作土ブロックを主体とする人為的埋土で基盤整備事業の際に成立した層と考えられる。中央と西側は褐色から暗褐色粘土・旧耕作土ブロックを主体とする人為的埋土で、東側同様に基盤整備事業により成立した層と考えられる。調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

52 志賀神明の木遺跡 2

所在地 佐久市志賀5953
調査委託者 佐久市（文化財課）
開発事業名 浄化槽設置
調査期間 平成18年1月19～23日
開発面積 40㎡
調査担当者 上原 学



志賀神明の木遺跡2位置図（1：10,000）

調査の結果

教育委員会文化財課浄化槽設置に伴う調査を実施した。対象地は学校建設時の水道管設置工事によって大きく攪乱を受けていた。掘乱下の状況は上層から20cm大の礫を含む砂礫層、褐色土層、黒色土層、褐色土層であった。調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

53 周防畑遺跡群27

所在地 佐久市長土呂1643-5外
調査委託者 佐久市（高速交通課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年2月15日～3月8日
開発面積 1,000㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



周防畑遺跡群27位置図（1：10,000）

調査の結果

周防畑遺跡群の南西部の遺構分布が薄くなる地点で、現況は碎石を敷いた農道である。水路部の掘削の際に上層と開発到達面までの遺構確認を行った。開発到達面までの上層は、圃場整備の人為的埋土（暗褐色～オリーブ褐色）で、遺構確認面には到達しなかった。

遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

54 周防畑遺跡群28

所在地 佐久市塚原487-10外
調査委託者 佐久市（高速交通課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年2月8日 3月13・16日
開発面積 3,150㎡
調査担当者 上原 学



周防畑遺跡群28位置図（1：10,000）

調査の結果

側溝付設及び現道部アスファルト除去工事に際し、立会調査を実施した。側溝付設部は以前行われた圃場整備時に遺構確認面となる地山が削り取られており、遺構・遺物は確認できなかった。現道部アスファルト除去後の状況は、部分的に地山と思われる黄褐色土が認められたが、大半は埋土部分で掘削が取り、遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

55 周防畑遺跡群29

所在地 佐久市長土呂1691-3
調査委託者 佐久市（高速交通課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年1月12日～21日
開発面積 545㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



周防畑遺跡群29位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地は周防畑遺跡群西端の遺構分布が薄くなる地点で、現況は碎石を敷いた農道である。

現道部の濶き取りに際し、土層及び開発到達面までの遺構確認を行った。開発到達面までの上層は、数cm厚の碎石と圃場整備時の人為的埋土（暗褐色土）で、遺構確認面には到達しなかった。遺構確認面までの深度は80～96cm（浅間P1ローム二次堆積層が確認面）を測ることが部分的掘り下げて判明している。遺構・遺物は検出されなかった。



立会調査

56 未周知

所在地 佐久市御馬寄787他
調査委託者 佐久市
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年1月11日～3月15日
開発面積 5,300㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



未周知位置図 (1:10,000)

調査の結果

地名などから、屋敷あるいは館の存在が推定される微高地の北側部分で、遺跡の有無が未確認であったため調査を実施した。現況は市道と圃場水田で北東方向に緩やかに傾斜する。

現道部拡幅の際に土層と開発到達面までの遺構の確認を行った。開発到達面までの土層は、北側で耕作土直下に地山である暗褐色～褐色粘土層を確認した。一部黒色粘土層が2～4cmの厚みで残存している部分があり、炭化した植物類が認められたが遺物は確認できなかった。この粘土層は工事東端部分と保育園入口部分の現道部側で確認された。圃場整備により削平されているが、本来この層が遺構確認面にあたると思われる。遺構・遺物は検出されなかった。



立会調査

57 宮の上遺跡群12

所在地 佐久市横和字芝宮
調査委託者 佐久市（土木課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成17年7月4日～11月22日
開発面積 1,520㎡
調査担当者 林 幸彦



宮の上遺跡群12位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地は湯川左岸段丘上に位置し、標高は678m内外を測る。平成13年には南側において、集合住宅建築に伴う試掘調査が行われ、奈良・平安時代の住居址8軒等が検出され、埋土保存されている。

今回、道路改良工事に伴い立会調査を実施したが、遺構・遺物は確認できなかった。



立会調査

58 石附遺跡（隣接）

所在地 佐久市根岸4670-1外
調査委託者 佐久市（土木課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年2月2・3日
開発面積 2,800㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



石附遺跡（隣接）位置図（1：10,000）

調査の結果

既存道路の基盤掘き取りと斜面削平の際に土層の確認を行った。既存の道路は山の西斜面と西袖を利用して造成されており、北側は山の斜面地で、南側裾部分で平坦地となる。斜面部分は褐色森林土の下部にいわゆる「相沢層」で、灰色軟砂岩を確認した。裾平坦部は暗褐色耕作土下部に灰オリブ褐色軟砂岩の基盤層を確認した。懸念された須恵器の窯跡や遺物は確認できなかった。



立会調査

59 未周知

所在地 佐久市御馬寄778-1外
調査委託者 佐久市（浅科支所建設課）
開発事業名 道路改良
調査期間 平成18年3月6日～3月24日
開発面積 3,900㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



未周知位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地は、小字地名などから、屋敷・館の存在が推定される微高地の北東部に位置する。一帯は圃場水田地であり、遺跡の有無が未確認であるため調査を実施した。現況は市道と圃場整備水田で北東方向に向かって緩やかに傾斜する。

現道幅拡幅及び畦畔築造の際に土層と開発到達面までの遺構の確認を行った。開発到達面までの土層は、耕作土直下において地山である暗褐色～褐色粘土層を確認し、南側で砂礫層が認められた。砂礫層からは幕末以降の磁器片が見られた。遺構・遺物は検出されなかった。



立会調査

60 番屋前遺跡群17

所在地 佐久市中込字西妻神3210-4

調査委託者 小須田 光

開発事業名 集合住宅新築

調査期間 平成18年3月3日

開発面積 656.99㎡

調査担当者 出澤 力



番屋前遺跡群17位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

集合住宅建設に伴い、調査を実施した。開発到達面までの深さは30～50cmを測り、土層は上部に人為的埋土、下層に黒褐色の耕作土が認められた。今回の工事では、掘削深度が遺構確認面である地山に達しなかったため、遺構・遺物は確認できなかった。



番屋前遺跡17全体図 (1 : 1,000)



立会調査

61 龍岡城跡

所在地 佐久市田口2978-2
調査委託者 佐久市（情報政策課）
開発事業名 伝送路用電柱設置
調査期間 平成18年2月28日
開発面積 0.25㎡
調査担当者 林 幸彦



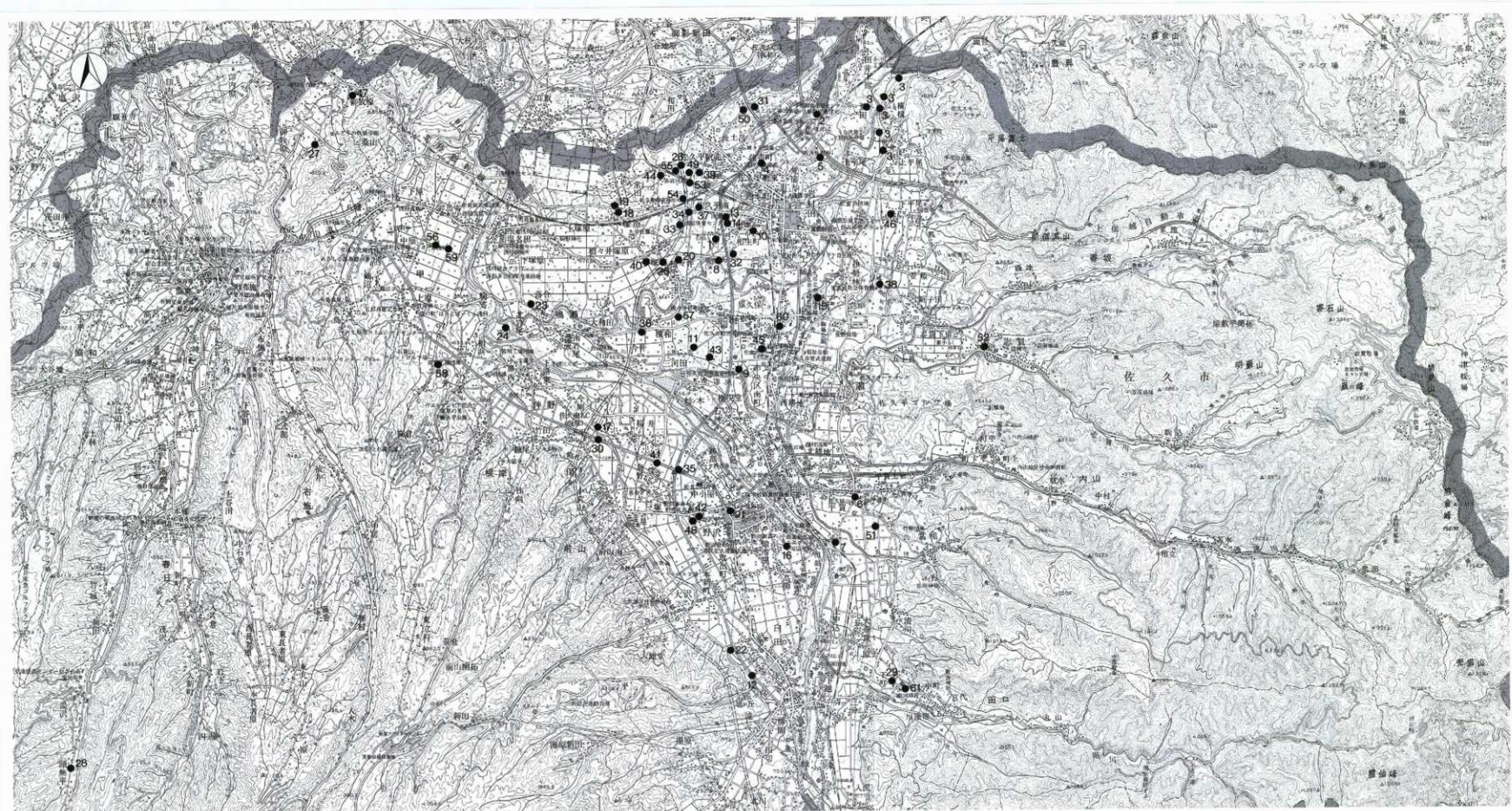
龍岡城跡位置図（1：10,000）

調査の結果

電柱設置工事に伴い立会調査を実施した。結果、遺構・遺物は確認できなかった。



地	道路名	所在地	開発者	開発事業名	調査面積(m ²)	開発面積(m ²)	保線位置	調査期間	調査担当	備考
31	芝田通線第21	長土呂	百上正雄	集合住宅	282	4,952.81	既設	H18.1.19-20	出澤	
32	岩村田通線第90	岩村田	佐藤隆雄	診療所併用住宅	96	791.12	既設	H18.1.12	出澤	住居一帯、土のピット等区 左近隣出土
33	滝口通線4(橋接)	岩村田	佐久市(内政交通課)	道路	198.28	872	既設	H17.12.26~28	羽毛田	
34	滝口通線5(橋接)	岩村田	株式会社建	集合住宅	335.75	2,387	既設	H18.2.6-7	羽毛田	
35	町田通線第2	助郷	佐久建設事務所	道路	42	273.35	既設	H18.1.17	高沢	
36	香取通線第2	橋井	佐久建設事務所	道路	200	2,347	既設	H17.10.11-12	林	香取通線本調査
37	御所通線第33(橋接)	佐久平駅前	株式会社ユメリア	店舗兼集合住宅	85	1,180	計画	H18.3.6	羽毛田	
38	高須町通線6	新子田	佐久海岸開発共同組合	野営場前所	130	998	既設	H18.2.13-14	上野	ピット等保存
39	長防町通線第24	佐久平駅北	社会福祉法人敬老園	集合住宅	363	1,665	既設	H18.2.15-16	羽毛田	運搬出土
40	原田通線第4(橋接)	豊くむ	佐久市(内政交通課)	道路	333	4,200	既設	H18.3.9~16	高沢	運搬出土
41	三千平通線第3	二重~松井	佐久建設事務所	道路	1,368	8,354.70	既設	H18.3.13~16	出澤	市道道路日本調査
42	東五甲田通線6	野火	佐久市(市民協賛課)	グラウンド建設	760	15,000	既設	H18.3.17~23	上野	東五甲田通線日本調査
43	中野通線第4(橋接)	三河川	佐久土地開発株式会社	宅地造成	-	2,972	立会	H17.5.27	林	
44	帯田通線第14	長土呂	南川順一	個人住宅	37.44	198.40	立会	H17.6.16	羽毛田	
45	大塚通線第4(橋接)	中込	株式会社ツツ三	工場	-	21,805.61	立会	H17.7.7~20	羽毛田	
46	東久保通線第10	下平尾	依田勉秀	個人住宅	25.75	399.04	立会	H17.10.27-28	羽毛田	
47	野野原通線	奥山	栗本光雄	個人住宅	-	684.66	立会	H17.11.16	羽毛田	
48	新久通線第2	野沢	植野清一	個人住宅	-	364	立会	H17.12.1	上野	
49	南防通線第25	長土呂	佐久市(内政交通課)	道路	-	1,012	立会	H17.12.22-23	出澤	
50	戸除通線第26	長土呂	Jフビー・リバー・ビス 株式会社	老人ホーム	-	2,568.82	立会	H18.1.25	須藤	
51	竹原通線4(橋接)	平賀	佐久市(森林課)	公園	-	1,563	立会	H17.12.6~8	羽毛田	
52	志保通線の本通線第2	栗呂	佐久市(文化財課)	浄化槽	-	40	立会	H18.1.19~23	上野	
53	戸除通線第27	長土呂	佐久市(内政交通課)	道路	-	1,000	立会	H18.2.15~3.8	羽毛田	
54	南防通線第28	原尻	佐久市(内政交通課)	道路	-	3,150	立会	H18.2.8-3.19-16	上野	
55	南防通線第28	長土呂	佐久市(内政交通課)	道路	-	545	立会	H18.1.12~21	羽毛田	
56	木内町	野崎	佐久市	道路	-	5,300	立会	H17.7.6~11.22	羽毛田	林
57	豊の上通線第12	橋井	佐久市(土木課)	道路	-	1,520	立会	H18.2.11-22	林	
58	石所通線(橋接)	橋井	佐久市(土木課)	道路	-	2,800	立会	H18.2.3	取田出	
59	米道町	御所町	佐久市(燃料支所建設課)	道路	-	3,500	立会	H18.3.6~3.24	羽毛田	
60	南防通線第17	中込	小沼田光	集合住宅	-	656.99	立会	H18.3.3	出澤	
61	南防通線	田口	佐久市(情報政策課)	佐久市(情報政策課)	-	0.25	立会	H18.2.28	林	



2005年度（平成17年度）市内遺跡発掘調査位置図（1：50,000）

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第143集
市内遺跡発掘調査報告書2005

2007年3月

編集・発行 長野県佐久市教育委員会
長野県佐久市中込3056番地
文化財課
長野県佐久市志賀5953番地
電話 0267-68-7321

印刷所 株式会社佐久印刷所
